

科目名	環境都市工学演習（２） Civil Engineering Exercises II	科目コード	51080
-----	---	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・４年（プログラム１年）
担当教員	環境都市工学科全教員
区分・単位数	履修単位科目・必修・１単位
開講時期・時間数	後期，３０時間【内訳：演習２６，その他４】
教科書	香坂文夫，SIで攻略土木計算，オーム社，２００７年
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

前半の授業では，卒業研究でおこなうプロジェクトの課題を選定し，関連の基礎知識を習得するために，配属された研究室で学習する。後半の授業では，専門科目の演習問題を解き，高専での４年間の学習到達度を確認する。

○関連する科目：全ての科目

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(d)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①卒業研究のための準備活動(課題の選定など)をおこなう。	25%	(g1)
②卒業研究の遂行に必要な基礎知識を習得する。	25%	(e1)
③都市施設や環境関連施設の構造的な特徴や機能を理解する。	50%	(d1)

【C. 履修上の注意】

各研究室での学習は，次年度に受講する卒業研究の準備段階として重要である。卒業研究でおこなうプロジェクトの課題の発掘や，その遂行に必要な基礎知識の習得に努めることを期待する。

教科書(問題集)の内容は，就職試験や編入学試験の準備に適したものになっている。後半の授業に予定されている試験(5回)は，教科書での学習の到達度を測るものになっている;しっかりと自学して受験することを期待する。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- その他の試験(50%)
- レポート(50%)

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	ガイダンス	
2	配属された研究室での専門知識の習得(1)	
3	配属された研究室での専門知識の習得(2)	
4	配属された研究室での専門知識の習得(3)	
5	配属された研究室での専門知識の習得(4)	
6	配属された研究室での専門知識の習得(5)	
7	配属された研究室での専門知識の習得(6)	
8	配属された研究室での専門知識の習得(7)	
9	教科書(問題集)による専門科目の学習(1)	
10	教科書(問題集)による専門科目の学習(2)	
11	試験(第1回)	
12	試験(第2回)	
13	試験(第3回)	
14	試験(第4回)	
-	前期末試験	試験期間のため休講
15	試験(第5回)	